

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	重症心身障害児施設整備費補助事業			会計	款	項目	大	小
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	障害者支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	小西 和典				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	重症心身障害児施設の整備	意図	在宅で生活している医療依存度の高い重症心身障害児（者）の施設入所やショートステイサービスを可能にする。
事業内容	東葛地区で新たに重症心身障害児（者）施設を設置する社会福祉法人に対して、6市で協議し総額200,000千円の施設整備費の補助を行う。流山市は、平成24年2月1日の各市の人口比率により、23,038,326円の負担金を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成26年4月1日に東葛地区で初めての重症心身障害児（者）施設「東葛医療福祉センター光陽園」が、柏市酒井根に開設された。今後はこの施設を中心に医療の必要な重度障害児（者）に対する療養介護やショートステイサービスの充実が図られ、介護者の負担が大幅に軽減されるもの。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		重症心身障害児（者）利用者			7	人	
指標で表すことができない定性的な成果	入所者や在宅生活を送る重症心身障害者のショートステイ利用者が、身近な地域の施設で安心してサービスを利用することができる。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成26年4月1日、施設開設。70名定員の療養介護サービスが開始された。職員体制の状況により、現在30名の認可を受けている。流山市は、5月末までに3人の入所が決定している。既に2名（者）は4月初めに入所済み。1名（児）は5月末入所予定。他4名待機中。今後、流山市として、合計7名の重症心身障害児（者）の入所が予定されている。また、ショートステイサービスについても10名定員で開設予定。これまでは近隣になく、利用するのに不便であったが、今後は身近な地域の施設として利用ができる。このことから、利用者が安心してサービスを利用することができ、在宅介護の負担も軽減される。			
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				23,178,066			
事業費（b）（円）				23,038,326			
うち一般財源				23,038,326			
職員給与と費(c)(円)				139,740			
人役・職員(人)				0.02			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	終了（事業を終了すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H25)の改善計画	在宅重症心身障害児（者）の療養介護とショートステイサービスの充実を図る。	取り組みの課題	流山市の重症心身障害児（者）の利用の円滑な利用促進を行い、介護者の負担軽減を図る。特に待機者については力を注ぎたい。
今年度(H25)に実施した取り組み	東葛地域に新たな重症心身障害児（者）施設が整備された。	今後の改善計画	施設との情報交換を綿密に行い、待機者の利用や新たな利用希望に対応したい。